

2019年12月5日(木)
 愛知県農業水産局農政部農業振興課
 野生イノシシ対策室
 経口ワクチン対策第二グループ
 担当 小出、後藤
 内線 5200、5203
 タイヤルン 052-954-6725

野生イノシシへのCSF（豚コレラ）経口ワクチン散布について

愛知県では、野生イノシシによるCSFウイルスの拡散を防止するため、国主導の下、2019年3月から野生イノシシへの経口ワクチンの野外散布を実施しています。

この度、以下のとおり経口ワクチンの野外散布を行いますので、お知らせします。

1 散布地域、散布日程及び散布予定個数

豊川市：12月6、7日 1,840個

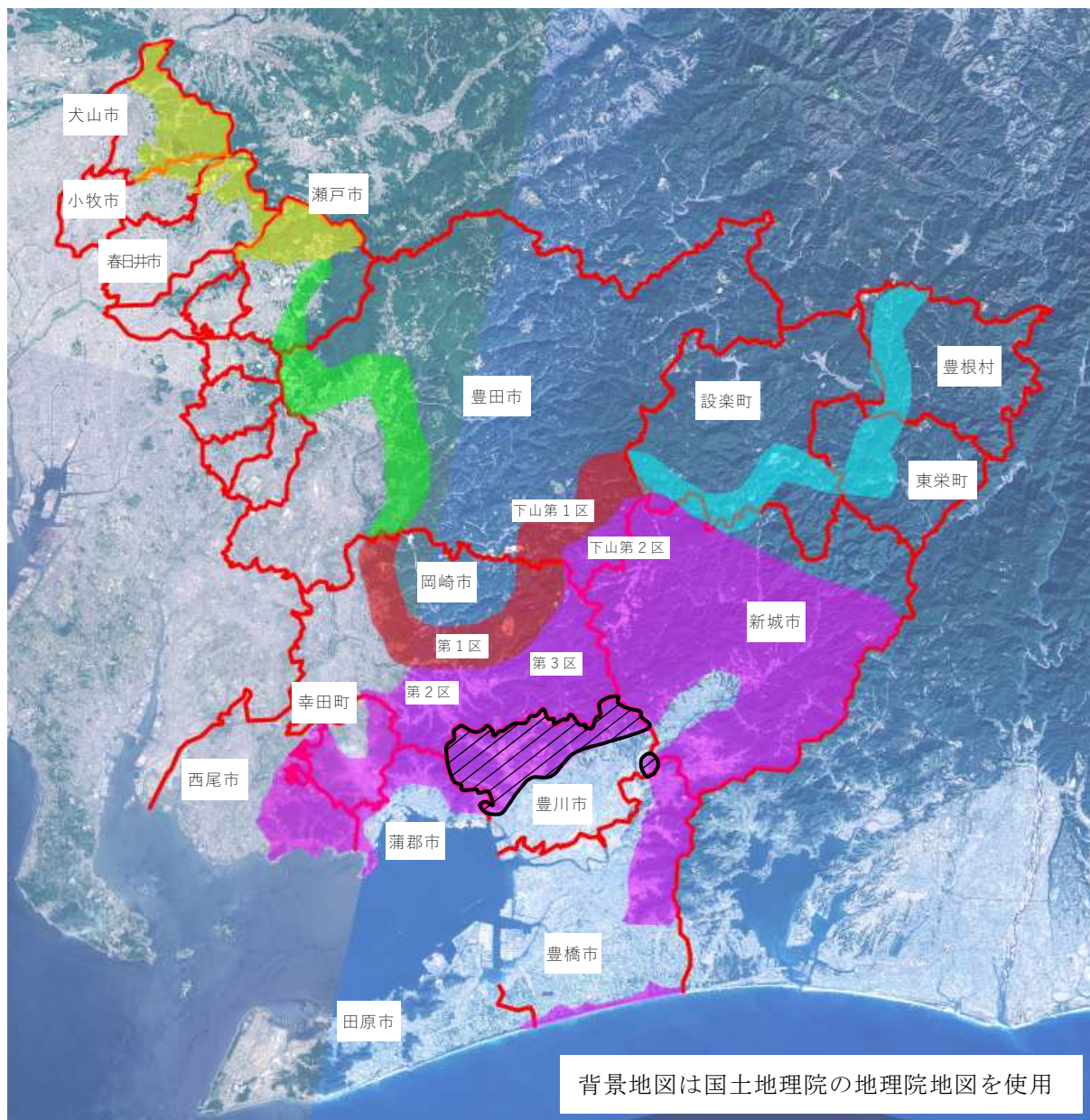
【参考 これまでの県内の散布状況】

	散布回数(散布月)	散布ワクチン個数(累積)
犬山市	4回(3・4・7・8月)	3,300
小牧市	4回(3・4・7・8月)	1,210
春日井市	4回(3・4・7・8月)	2,090
瀬戸市(北部)	3回(5・7・8月)	1,680
瀬戸市(南部)	1回(9月)	430
岡崎市(第1区)	2回(7・8月)	2,780
岡崎市(第2区)	1回(9月)	140
岡崎市(第3区)	1回(11・12月)	1,700
豊田市(下山第1区)	2回(7・8月)	1,400
豊田市(下山第2区)	1回(11月)	620
豊田市(旧豊田市地区)	1回(9月)	1,140
新城市(北部)	1回(10月)	160
設楽町	1回(10月)	520
東栄町	1回(10月)	240
豊根村	1回(10月)	480
西尾市	1回(11月)	140
蒲郡市	1回(11月)	520
幸田町(東部)	1回(11月)	520
合計		19,070

※ワクチン散布地域は、野生イノシシの生息圏の地形や地理的条件（河川、道路、居住地、市街地等）等を踏まえて設定しています。








※ワクチン散布に関しては、野外イノシシの誘引への悪影響及びCSFウイルスが靴底等に付着することによる外部への持ち出しや拡散の恐れがあることから、作業時には必要最低限の人数で行う必要があるため、散布場所での取材を自粛いただきますようお願い申し上げます。

2 散布エリア



※散布エリアのうち、豊橋市、新城市、田原市、幸田町及び設楽町の未散布地域においては、地元との調整が済み次第、順次、野外散布を行う予定です。

〈凡例〉

-  : 今回のワクチン散布エリア【豊川市 約 75 km²】
-  : 犬山市、小牧市、春日井市、瀬戸市（北部）ワクチン散布エリア 約 111 km²（実施済）
-  : 岡崎市（第1区）、豊田市（下山第1区）ワクチン散布エリア 約 105 km²（実施済）
-  : 瀬戸市（南部）、豊田市（旧豊田市地区）ワクチン散布エリア 約 80 km²（実施済）
-  : 新城市（北部）、設楽町、東栄町、豊根村ワクチン散布エリア 約 93 km²（実施済）
-  : 豊橋市、岡崎市（第2区及び第3区実施済）、豊川市（今回実施）、豊田市（下山第2区実施済）、西尾市（実施済）、蒲郡市（実施済）、新城市、田原市、幸田町（東部実施済）、設楽町散布エリア 約 833 km²（エリア内の未散布地域については今後順次実施予定）
-  : 市町村境